

数学 I・A 第 4 問

1～6 の矢印の方向の移動をそれぞれ ①～⑥ と表すこととする。

(1) 求める移動の仕方は ③, ③, ④, ④ の順列であるから $\frac{4!}{2!2!} = {}^A 6$ (通り)

(2) ③, ④, ⑤ をそれぞれ 1 回ずつ行えばよい。

よって、求める移動の仕方は ③, ④, ⑤ の順列であり $3! = {}^I 6$ (通り)

(3) 交差点 C を出発し、3 回移動して交差点 D にいる移動の仕方は、(2) と同様に考えて 6 通りある。

よって、求める移動の仕方は $6 \times 6 = {}^U 36$ (通り)

交差点 A を出発し、6 回移動する移動の仕方は 6^6 通り

ゆえに、求める確率は $\frac{36}{6^6} = \frac{1}{6^4} = \frac{\text{オ}1}{\text{カキクケ}1296}$

(4) [1] ① を含むとき

① を 1 回, ④ を 5 回行えばよい。

よって、求める移動の仕方は ①, ④, ④, ④, ④, ④ の順列であり

$$\frac{6!}{1!5!} = {}^N 6 \text{ (通り)}$$

[2] ② を含むとき

② を 1 回, ⑤ を 1 回, ④ を 4 回行えばよい。

よって、求める移動の仕方は ②, ⑤, ④, ④, ④, ④ の順列であるから

$$\frac{6!}{1!1!4!} = {}^S 30 \text{ (通り)}$$

[3] ⑥ を含むとき

② を含むときと同様に考えて、移動の仕方は 30 通りある。

[4] 上記以外のときを考える。

移動方法は ③, ④, ⑤ のみである。

③, ⑤ 1 回ずつの移動は, ④ 1 回の移動と同じである。

合計の移動回数が 6 回になるように移動することに注意すると, ③, ⑤ はそれぞれ 2 回, ④ は ${}^2 2$ 回だけに決まる。

よって、求める移動の仕方は ③, ③, ④, ④, ⑤, ⑤ の順列であるから

$$\frac{6!}{2!2!2!} = {}^T 90 \text{ (通り)}$$

[1], [2], [3], [4] は同時には起こらないから、交差点 A を出発し、6 回移動して交差点 D にいる移動の仕方は $6 + 30 + 30 + 90 = {}^X 156$ (通り)